



2018・5・21

第 306 号

101-0065 東京都千代田区
西神田 2-5-7 神田中央ビル 303

TEL 03-3221-5075

FAX 03-3221-5076

各地でつきつき目標突破 3000 万達成へ総力

初の統一署名提出は6月7日

安倍9条改憲NO！全国市民アクションは、3000万署名の初の統一提出行動を下記のようにおこなうことをよびかけています。

- ・日時 6月7日 14時から
- ・会場 衆院第1議員会館 国際会議室

街頭で渡した用紙で広げる人も

【東京都江戸川区／九条の会葛西】

《10月の葛西駅宣伝からスタート》

駅で署名し、持ち帰ったニュースにはさんであった署名用紙で署名を集め送ってくださったAさん。

11月に賛同者の皆さんに署名用紙と返信用封筒を渡してお願いしました。11月中旬からは毎日のように返信が届くようになり、11月27日は最多の6通、1日で50筆。12月末で45通、4月末で70通が届き、1500筆の自主目標を達成しました。

11月19日、西葛西駅頭で「安倍首相の言う憲法に自衛隊を書き込むことが、自衛隊員の命を危険にすることだ」という訴えを聞いていた元自衛隊員のHさんが、納得し署名や賛同署名に応じてくれました。

改憲手続き法から審議入りめざす

自民、公明両党は15日、憲法改正手続きを定めた国民投票法について、船舶乗組員による「洋上投票」の対象拡大などを盛り込み、今国会での改正を図ることで一致しました。

与党はこの国会で初めて開かれた17日の衆院憲法審査会の幹事会に先立ってこの改正案を野党に示し、共同提出をよびかけました。野党側は、共産党が反対したほかは、もちかえって検討するとなりました。

《1月からは月に3回の駅宣伝に》

宣伝の回数を増やそうと船堀駅や臨海公園駅、「戦争させない江戸川の会」の人たちとも一緒に行動しました。また世話人のMさんは1人での署名行動も始めました。2月9日、この日は葛西駅での署名が13筆だったのですが、封書で35筆、賛同者や世話人の知人・友人が集めてくれた署名が60筆も集まり、いっきよに100筆以上も増えました。自宅まで、署名やカンパ・切手など

を届けてくださった人もいました。

安倍政治に対する怒りや、「戦争する自衛隊を持つ国」にしたくない、その思いが日増しに高まっていったように思います。

《3000万署名は続きます》

安倍改憲の発議をさせないために、全国で署名活動は続いています。ニュースを書いている今、北葛西のAさんから3通目の署名が届けられました。嬉しいかぎりです。背中を押されます。私たちも目標達成の小成に安んずることなく、引き続き続けます。

賛同者の皆さん、お手元にある署名、1筆でも2筆でも生かしてください。一緒に頑張りましょう。

九条の会・葛西 伊藤信子

(「九条の会葛西だより」135号)

励ましあって全体の目標達成へ

【さいたま市緑区／9条の会連絡会等】

緑区内にある6つの9条の会をつくる9条の会緑区連絡会は昨年11月、区内の労働組合など11団体と「安保法制を廃止するオール緑区の会」を結成、それぞれが3000万目標に見合う独自の目標を掲げ署名活動にとりくんできました(11団体の自主目標の合計は3万2千)。5月10日には、安倍改憲に反対する3000万署名2万人突破集会を開きました。緑区連絡会の自主目標は5700筆で、この日までに達成しました。

集会では、それぞれの目標を達成しているみぬま地域九条の会・緑区革新懇・埼玉土建さいたま南支那や、署名行動に取りくんだ個人が発言しました。

みぬま地域九条の会は、スーパーマーケットの前でスタンディングを実施し、来客

数が多く見込まれる日を狙って署名を集めました。毎日目標をたてて300、あるいは600集めた人もいます。9条の会連絡会が重視したのは地域の全戸訪問で3月19日には総勢28人が公園に集まって宣伝カーも投入し午前中だけで93筆集めました

医療生協さいたま美園支部の加納えみ子さんは、独自の取り組み実績を積み重ね、支部全体での署名呼びかけに発展したことを紹介。居住している集合住宅で一軒一軒を訪ねて署名を集め続けている佐藤良子さんは、著名な人が3000万人署名に賛同していることや、9条の条文を紹介して「これを守るための署名です」と呼びかけていることを語りました。

オール緑区の会がこれまでに集めた署名は10日の時点で21000人分を超え、目標比70%となっています。

県の推進センター設置にこたえて

【宮城県／宮城県内9条の会連絡会】9条の会県内連絡会として3000万署名推進センターを設置、5月14日までに23444筆集めています(県内の他の団体とあわせると154840筆)。

5月26日には、署名運動達成にむけて11時から18時まで、1日通しのロングラン宣伝をおこなうこととし、賛同者が可能な時間に参加することをよびかけています。

【宮城県大崎市／鹿島台 憲法9条を守る会】地元紙「河北新報」5月2日付が「改憲反対の署名 目標の3000人達成」と報じたのは鹿島台の「鹿島台 憲法9条を守る会」の活動です。1月に署名を開始し、地区人口の4分の1にあたる3227人分を4月

27日に突破しました。目標達成の原動力は、150人以上の会員が動いて訴えを繰り返したことです。

昨年12月、集落を訪問して署名を訴える活動を中心に据えようと確認しました。

「命がけで住民の安心と安全を守るのが町長時代の信念です。それを脅かす最たるものが戦争です。私は残りの人生を、9条を守ることに使う」と決意を語るのは、旧鹿島台町で30年町長を務めた同会会長の鹿野文永さん(82)。

元県農協中央会会長の木村春雄さん(77)は、2歳の時に戦争で父を亡くしました。二度と戦争を繰り返さないため「俺は戦争反対でやっているんだ。戦争はしたくないべ」と訴えながら署名を集めています。

会は、返信用封筒で署名用紙を届ける活動を重視しています。署名の力で「戦争しない日本」を守ることができると呼びかけ、290通ほどが返ってきています。

目標突破の記者会見で鹿野会長は「安倍首相が改憲発議を狙い続ける限り、私たちも終わりなく署名を続けていきます」と決意を語っています。

実行委員会に広範な人びとが結集

【長野県栄村／栄村九条の会等】 人口1899人(4月1日現在)の長野県栄村で、安倍9条改憲に反対する3000万人署名の到達が人口の25%にみあう540人を超えました(5月1日)。

署名に取り組んでいるのは「戦争反対・憲法を守る栄村実行委員会」。戦争法反対の運動が大きく広がった2015年7月に、栄村の九条の会、農民組合、新日本婦人の会、

日本共産党の4団体で結成しました。

3000万人署名の目標を、入口の4分の1に当たる500と決め、4月末までに目標を達成しようと訪問活動を強めてきました。

転機は4月21日の九条の会の例会。農繁期で参加はあまりよくありませんでしたが、「3000万人署名を持参してください」と連絡し、当日までに集まったのが320。

4月末の4日間に集中した訪問行動と、各自が集めてあった署名を集約し、200人を超える署名を集めました。

実行委員会代表委員の高橋彦芳さん(元栄村長)は、栄村議(無所属)の相澤博文さんを誘い、奥まった秋山郷を回りました。相澤さんが住民に声をかけ、高橋元村長が対話し、農作業中の人など50人から署名を集めました。元村長の訪問は、いつでもどこでも歓迎され、「お茶でも飲んでいって」と声をかけられます。

署名集約を担った事務局の杉浦恵子さんは「目標を超えたから終わりではなく、まだ声をかけていないお宅もあるので、ぜひ署名を積み上げていきたい」と語ります。

住宅地図をチェックしながら

【歌山県日高町／日高町平和を願う9条の会】 日高町平和を願う9条の会は13日、「安倍9条改憲NO!3000万人署名」が、全国3000万人に見合う同町人口(7908人)の25%に対し113%の2235人(人口の28・26%)達したと発表しました。引き続き、自主目標の3000人に向けて取り組みを進めています。

1月以降6回の統一行動には述べ62人が参加しましたが、その71%にあたる506軒

で 904 筆の署名がよせられ、断られたのは 201 軒でした。音の出る宣伝とともにビラを 3 回 (①19 氏の呼びかけと署名用紙②脅し合いの先には核戦争③核戦争の回避へ) 新聞折り込みするなどして、町民に署名の意義を伝えてきました。1 月以降、宣伝カーを 8 回運行しています。

また、住宅地図を用意し、地域担当者を決めてチェックを入れながら、すべての家庭を訪問し切ろうと奮闘。同会の埋橋忠彦事務局長は「町民の中で『平和を守らなアカン』という声は大きいです。韓国のろうそく革命は、南北首脳会談などに結実しました。日本では、この 3000 万人署名が平和の力になります。さらに署名を進めます」と話しました。

10 年余の取り組みで有権者過半数

【長野県小諸市／憲法九条を守るこもろの会】 長野県の憲法 9 条を守る県民過半数署名の会のよびかけに応え、憲法 9 条をまもるこもろの会が住民に過半数署名をよびかける活動をはじめたのは 2007 年で、この 4 月末で署名は小諸市の有権者約 3 万 4000 人の半数を超える 1 万 7 千人にたっしました。

訪問活動をはじめたころは、毎月の訪問地域を決め、前日にはチラシを届ける活動をほとんど毎月つづけました。訪問日が 100 回を越え、市内のほぼ全域を網羅したこともあって、一時中断していました。

しかし安倍首相のもとで改憲の動きがつかよまったのに対応し全国の市民アクションが「安倍 9 条改憲 NO! 3000 万署名」を呼びかけたのに励まされ、「性根を据えた取り

組みを」と役員会で意思統一しました。約 100 人の会員に署名用紙を送付、「70 年間つづいた平和な国の姿が帰られようとするとき、いま全力投球で抗せずいつ立ち上がるか」と訪問活動の再開をしらせました。

4 月の行動では「9 条改憲賛成という人に出会わなかった」という参加者もおり、「安倍は国民の声を聞いていない。朝鮮も変わってきている」と語る住民もいて、若い人の反応が好意的でした。

活動が継続してきたことについて、事務局長の塩川十郎さんは (67) は、「九条の会の役員会を毎月 1 回開き、毎回情勢論議をし、自分たちが何をすべきかを話し合ってきたことが力になった」と語ります。

団地行動で噴出する安倍批判

【岐阜県多治見市／多治見 9 条の会他】

岐阜県多治見市で 5 月 12 日、安倍 9 条改憲 NO! 3000 万人署名の訪問活動が行われました。

実施したのは 9 条の会、年金者組合、新日本婦人の会など 7 団体に構成する「どもならん NO! 安倍政権! パレード実行委員会」。16 人が参加し、6 月 10 日の落合恵子講演会の案内ビラびらを持って、協之島団地「ホワイトタウン」(約 2500 世帯)を一斉訪問しました。

年金者組合の熊澤清次さん (69) と共産党の三輪寿子市議らが回った組では、元教員の男性 (74) が安倍政権の不正、国民だましを厳しく批判し、「野党は団梢して安倍を倒してほしい」。草取りしていた男性や、枝切りしていた女性も気軽に「いいですよ」と署名。玄関から出てきた男性 (69) は「む

ずかしいな」と考え込みながらも、「古い憲法だから変えるのは必要かもしれないが、軍備拡張はよくないから、やっぱり署名するわ」とペンを走らせました。

すでに署名していた男性（74）は「常識外れの大臣ばかりで反省の色がまったくない。とにかく野党は大同団結してほしい」と期待の声を寄せました。

この日は全体で 59 人分の署名が集まり、1 月から 4 回の行動で通算 301 人分となりました。

宮地純二事務局長（64）は「地域に署名で入るのは難しいけど、みんなと一緒に入ることによって連帯感も生まれ、宣伝効果もある。新しい取り組みとして今後もこのパターンを大切に、とにかく安倍政権を退陣に追い込みたい」と語りました。

憲法 9 条の誕生史を学ぶ

【北海道／ピー・アンビシャスの 9 条の会北海道】 北海道大学の OB・OG でつくる「ピー・アンビシャス 9 条の会・北海道」は 5 月 3 日、憲法記念日学習会を札幌市で開きました。

「日本国憲法第九条の誕生史—平和憲法の光と影」と題して北海道教育大学の明神勲名誉教授が講演。教育大元教職員、北大元職員、北大 OB、青年ら 130 人が熱心に聞きいりました。

戦後占領期における GHQ（連合軍総司令部）・政治と社会の対抗、日本共産党員や支持者が職場を追われたレッドパージ研究の第一人者の明神氏。今回は、占領期の資料から 9 条誕生の秘話を語りました。

9 条の歴史的意義、不戦・平和の世界史

的記念碑として 9 条制定の時代状況をよく示している意法改正議会での芦田議員発言（1946 年 7 月 9 日）に注目、憲法「押しつけ」には、平和、基本的人権、国民主権の 3 原則で、当時の日本国民の多くがこれを歓迎したと指摘しました。

9 条誕生時の負債、沖縄と東アジア諸国への戦争責任の解決として、沖縄の差別解消、東アジアへの謝罪と清算をよびかけました。

会場から沖縄差別についての質問が出され、丁寧に答えました。

空自岐阜基地の実態を学ぶ

【岐阜県／岐阜九条の会サロン】 「安保法制（戦争法）で航空自衛隊岐阜基地がどう変化しているか」。岐阜市で 8 日、岐阜基地（各務原市）の監視・調査を続ける県平和委員会常任理事の鷺見鎮一さん（68）の報告を聞き、話し合う集会が開かれ、19 人が参加しました。主催は岐阜九条の会のサロン 9 条例会。

鷺見さんは、岐阜基地が明治初期に旧陸軍の大砲射撃場として開かれ、日本で最も長い歴史をもつ基地だと紹介。戦後、米海兵隊が駐留し、第 3 海兵師団が沖縄に移転したあと航空自衛隊岐阜基地となり、1988 年に日米共同使用の基地となった経過を説明しました。

現在では、一番新しい航空自衛隊機の試験飛行を行う「飛行開発実験団」の中心部隊として月曜日から金曜日まで毎日飛行訓練（火曜日は夜間も）し、周辺住民から騒音苦情が広がっています。

それなのに防衛省が 30 年続けてきた防音

対策としてのNHK受信料補助（年上限額6995円）を打ち切るなど許されないと指摘し、安倍政権の軍事優先、住民犠牲の政策を厳しく批判しました。

鷺見さんは、「自衛隊カッコいい」と基地に集まるマニアの中に、安倍9条改憲反対の署名を呼びかけると「戦争に出て人を殺すことに使ってほしくない」と署名する人がいることも紹介しました。

昨年上回る賛同で意見広告

【静岡県／県内85の9条の会】 静岡県内の9条の会は3日、朝日新聞県内版の1頁全面を使い安倍9条改憲に反対する意見広告を掲載しました。憲法記念日にあわせ毎年行い、今年で8回目。県内の9条の会85団体が参加して、市民に呼びかけ、昨年を上回る5160人が掲載に賛同しました。

大見出しで「安倍政権による9条改憲を許しません！」と主張し、9条を変えれば海外で戦争する自衛隊になり、戦争優先の国になると警鐘を鳴らし、「武力で平和はつぐれない」とし、北朝鮮問題は9条を生かした対話と外交こそ解決の道だと訴えました。かわいいイラストとともに第9条前文も掲載しています。

実行委員会事務局の三輪矩正氏は「『国民の思いを無視する安倍政権はなんとしても阻止しよう』という県民の強い意思を感じます。発議を断念させるまで、たたかいをさらに進めていきたい」と話しています。

12年の集いで安倍退陣へ決意

【愛知県尾張旭市／九条の会・尾張旭】

4月22日、『九条の会・尾張旭』は、尾張

旭市で「12周年のつどい」を行いました。

事前のチケット普及の時、「良い季節になって来て、出かける予定の人が多そう。大丈夫かなとずいぶん心配しました。

しかし沢山の方の参加・協力のお陰で当日の参加者は600名超でした。当日券入場者は186名でした。

司会は、今までで一番若い方でした。「司会の方が若く、声も美しく、はきはきしていて好感が持てました」「司会が大学生で、清新な感じで良かった」の声が届きました。

文化行事は、和太鼓演奏「鶴輝松（尾張旭子ども太鼓）」と「童謡唱歌をうたう会（尾張旭年金者の会）」の登場でした。力強い演奏と美しい歌声で、「12周年のつどい」を盛り上げてくださいました。

記念講演は、「時代が底を打つとき」というテーマで、講師は池田香代子さんでした。

アンケートでも、ほとんどの方が「良かった」と答えてみえました。中には、わざわざ「とても」という言葉を付け加えてくださった方もいます。

池田さんが講演の中で言われた「人を信じ、人とのつながりを大切にし、新しいことに挑戦しよう」の言葉に励まされました。

参加者600名超のうち、アンケートに答えてくださった方が120名。

カンパ15万7千余円。

カンパで購入してくださった『尾張旭発未来への伝言 私戦争体験集』25冊。

「安倍9条改憲NO！憲法を生かす全国統一署名」160筆以上。

「ヒロシマ・ナガサキの被爆音が訴える核兵器廃絶国際署名」90筆。

（「九条の会・尾張旭ニュース」第72号）